

微弱無線設備の流通状況について

(1) 民間における「微弱基準適合マーク」表示の取組

民間の自主的な取組として、市場で販売する無線設備の外箱パッケージ等に、発射する電波が「著しく微弱」の範囲内であって無線局免許等が不要な微弱無線設備であることを証明するマーク（ELP マーク^(※1)及び性能証明ラベル^(※2)）を表示する取組が行われています。

なお、平成30年度の無線設備試買テストでは、微弱基準適合マークを表示して販売されていた13機種を購入し、測定を行いました。その結果、すべての機種が「著しく微弱」の範囲内でした。



(※1) ELP マーク

全国自動車用品工業会（JAAMA）が平成27年6月より、電波環境協議会（EMCC）が平成28年6月より開始した微弱無線設備登録制度に基づき基準を満たした製品に表示されるマーク



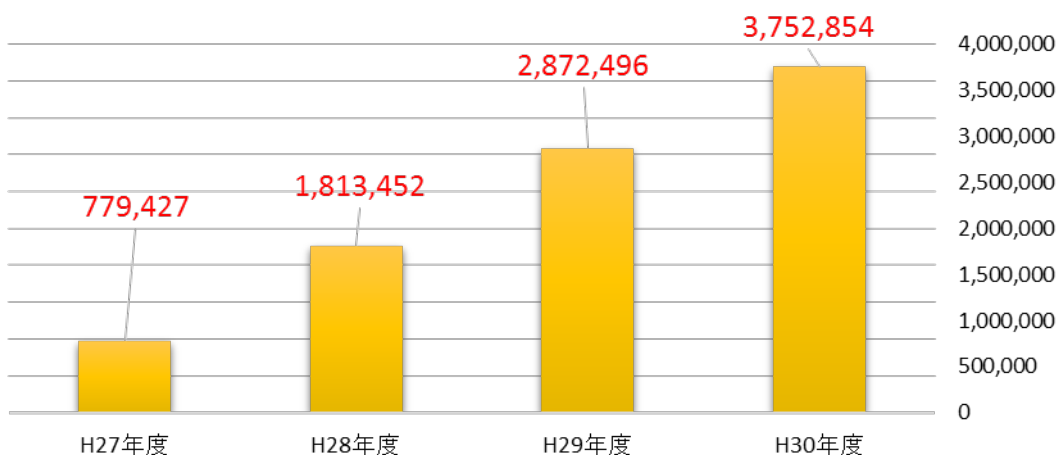
(※2) 性能証明ラベル

一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター（TELEC）が測定を実施し、電波法令で規定している条件に適合していた場合に、免許を要しない無線局である事を証明した製品に表示されるマーク

(2) 製造・出荷

現在、ELP マークを表示した製品の普及が進んでいます。その大半は全国自動車用品工業会（JAAMA）の製品であり、出荷台数は下図のとおりです。

（全国自動車用品工業会（JAAMA）提供データより作成）



図：ELP マーク取得製品の累計出荷台数（JAAMA の場合）

(3) 流通・販売

自動車用品小売業協会（APARA）及び大手家電流通協会の会員の販売店では、無線設備を取り扱うにあたって、ELP マークの表示又は基準を満たすことが確認できた微弱無線設備及び適合表示無線設備のみを販売しています。